

15 第一大学区第一番中学営繕金・定額金増加に付上申

〔明治五年八月二十二日〕

営繕金定額金増加之儀ニ付申上書

学制御発令相成給貸之方法御施行ニ付テハ此機会ニ乗シ一層奨

勵致し度已ニ先頃中々試業之処就中進級之生徒許多有之因之ニ
 營繕ハ勿論書籍器械ニ至道具足不致候テハ學術進歩之路を遅く
 し卒業大成之功難立遂ニ姑息之弊習ニ陥リ可申勿論御多端之御
 中一時充盈ニハ至リ兼可申候へ共已ニ方今之景況ニ而ハ一日も
 因循難相成候間過日相伺候通營繕金定額金とも増加之儀至急御
 確定之上来月より御渡方相成候様此段更ニ申上候也

壬申八月廿二日

第一番中学

本省御中

（割印）

本書營繕金之儀現今正院伺中ニ付御聞定次第可申達定額金之儀
 ハ一体之經費御許可無之ニ付増加難相成候事

壬申九月二日

『文部省往復』明治五年甲、㊦A3